



せとまちだより

SETOMACHI-COMMUNITY NO 52

令和 6年 3月20日(水)
瀬戸地域まちづくり協議会
香岐市芦辺町箱崎大左右触924
080-8574-5853
発行責任者 町田 正一

令和5年度末運営委員会(総会)を開催します

令和6年3月14日(木)瀬戸地域まちづくり協議会の役員会を箱崎地区公民館で開催しました。

令和5年度末運営委員会(総会)開催に向けて、令和5年度事業報告及び決算内容について役員への説明と、総会資料の確認をしました。

令和5年度(基礎額・保全額)交付金等収入は2,797,214円で、支出2,311,483円、残額485,731円は次年度繰越となります。地域活性化型(先の川バス停屋根・椅子設置事業)は交付金215,000円、支出は215,000円となっています。基礎額・保全額の主な支出項目は、広報紙「せとまちだより」印刷代、環境美化事業に係る経費(市道等除草作業日当・種・球根・肥料等の購入費)ボランティアなどに係る1日保険代等です。花壇の水やり、草とりなど自主的に取り組まれている方々もおられ、大変、助かっています。令和5年度事業報告及び収支決算は、3月27日(水)開催の運営委員会(総会)で承認を受ける予定です。

もってこいネットワーク通信より

警戒してほしい詐欺の手口3選!!

1 投資詐欺

必ず利益が出ます!
あの有名人もやってる!



もうけ話につられ
大金を送ると...

出金させてもらえない...

・SNS上のニセ広告に要注意!!
・初めに「少しの利益」を見せて利益が必ず出ると信じさせる。

2 副業詐欺



『いいね』でお金!?
素敵!!

LINE等に
誘導され...



犯人の指示で
送金すると...

どうしよう...

・SNS上のもうけ話に要注意!!
・「振込むだけで利益が出る」や「操作ミスをしたので違約金が必要」などと言われ送金させられる。

3 サポート詐欺



警告画面の番号
に電話すると...

慌てず、電源を切って、販売店や修理業者に相談しましょう。



サポート窓口デス。
修理には●万円が
かかります。

コンビニで電子
マネーを買って
支払ってネ。

【片言で話す犯人】

※あやしい、おかしいと思った時は、最寄りの交番や警察署にご相談ください。

箱崎中学校の校旗・卒業アルバム等保管しています!

2011(平成23)年3月箱崎中学校は閉校になり、13年もの年月が経過しました。3年ほど前、箱崎中学校最後の校長・松野修司氏がまち協を訪問され、「閉校記念誌を発行したが、購入希望者が多くなり、単価が安くなり、予算残が発生した。一部は藤棚修復に使用したが15万円残った。瀬戸と箱崎の小中学生のために使ってもらいたい。」と、瀬戸・箱崎まち協それぞれ75,000円ずつ頂きました。「箱崎中学校の校旗や写真などがあるので、どこかに展示できないか検討している。これに使ってもらいたい。」旨伝え、瀬戸まち協で一括して特別会計を開設し、管理することとなりました。

アルバム等は3年ほど前に事務所に運び、保管していました。今回、残りの校旗等を保管場所から引き取ってきました。

展示をする場所は決まっていますが、卒業アルバムは、スチール書庫を購入し並べました。昭和45年3月卒業から平成11年3月卒業までのアルバムがあります。(昭和46年と昭和50年はありません)

貸出はできませんが、瀬戸地域まちづくり協議会事務所で閲覧できます。(紛失防止のため)

また、朱色の応援旗もあります。

この旗は、同窓会で使用される場合に限り貸出をします。記念写真撮影などに利用ください。校歌のCDもあります。(必ず、返却ください。)



きびしくやさしい松永先生と 3年A組

上の写真は、第23回卒業生のアルバムから・・・
皆さん、本年、「古希」では?(A組だけ使用)



楽しかった日々、大切な人との出会い、一生の宝物。ありがとう!箱崎中学校

箱崎中学校最後の 第64回卒業生 平成23年3月 卒業アルバムより

平和学習

昨年の12月に「まんが日本昔ばなし」の上映会を、JA彦根市職員 立山 淳氏のご協力で実施しましたが、他に、立山氏が力を注いでおられるのが、「平和学習」です。第二次世界大戦で、彦根の人々の体験や実態を調べ、多くの人に知ってもらい、二度と、人々が悲しむことがないよう後世へ伝える活動を展開しておられます。機会があれば、是非、聞いていただきたいと思っています。

さて、瀬戸の古い写真提供を皆さんにお願いし、集まった写真は、「せとまちだより」に掲載してきましたが、写真以外でも戦争に関する資料を見せたいたくさんある機会がありました。南町の小島忠男さんからは平成20年8月8日（金）発行「壱岐日々新聞」の切り抜きの提供がありました。瀬戸で

もこんな悲話
があった事を
私は知りませ
んでした。

今、世界ではウクライナやガザ地区をはじめ戦火の中に生きていく多くの人がいます。この記事を読まれて、皆さんが「平和」であること、ありがとうございます。

昭和13年に国家総動員法を成立させた大日本帝国は、大立洋
 戦争に軍艦をはじめ多く文芸通の国内の全士を動員した。軍艦に
 は死者を叩くお坊さんが徴用され、理容師も乗組員の散髪のため
 軍艦を命とられた。このとき岐島も、漁師が船員として徴用され
 帰って来なかったという、知られざる悲話があった。

箱崎漁協の大会議室にセピア色に変色したら人の写真が掲げてある。「これ誰だ?」と聞く人が多いというが、「箱崎漁協の最初の船箱崎丸の乗組員だ」という答に次いでその長い物語を聞き、合掌する姿もある。

箱崎協が瀬協として初めて船を造ったのは71年前の昭和12年。「箱崎丸」と命名された116トンくらいの木船は博多や唐津、下関へ魚を運ぶ運搬船となった。しかし太平洋戦争開戦直後の昭和16年12月12日、漁業のためのこの船も物資や兵員の輸送に徴用された。正月を前にした年末、乗組員7人は正規の軍人ならぬ「陸軍軍医」として、瀬戸の港を出港する。風も波も強い日だったが親族みんなが見送

フィリピンの山に散った漁師たち

りに集まった。箱崎大左右衛門の小西恵美子さん（7歳）は当時まだ小学3、4年生。まろたを押しさえながら当時を思い出す。平和大橋の南側の道路はその頃は海。今の巻岐水産の前が崖壁で、そこに組まれた竹の棚から船は出た。船から大きな声で「元氣しろよなよー!」と声がかき、風の中、船が見えなくなるまで皆が手を振り続けた。

乗組員7人中、体調を崩した2人は中途に帰還したが、他

呼吸が止まっていたが、この手紙から半年後の昭和19年3月、志岐島民から軍用機志岐号2機が16万円の費用で献納されたという記録が残っている。

市川船長や戦死した小嶋福市さんの甥に当たる瀬戸川の小嶋忠男さん（77歳）は昭和8年の8月18日、夕方の墓参りから帰った父が突然「どうしてもまた墓参りに行かなければ」と言い出したのを覚えている。暗くなった墓へ出かけた父は「何か話し声が聞こえてきた。何と言っているか分からないが声が聞こえる」と不思議がった。すると翌朝、叔父とある福市さんの戦死を知らせると電報が届く。墓での声と戦死と、時間まで一致していた。小嶋さんは「僕は帰ってきておっただけでしょ

持たになります。こんなふいふ日本国民として国賊呼ばれませんが、実の處で「氏死後淋しくなりました」紙は「銃後昌様の晩前」として「飛行機を充分に送上げさすれば決して戦にる気使にはありません」と

五十四



写真上が手紙を書いたのは、前列中央が最初に戦死した小嶋福市航海長、時計回りに中尾時次郎機関長、小川さん、馬渡久夫甲板員、前列右は生還した炊事係の小川さん、川添源市甲板員、馬渡久夫甲板員。

5人は帰って来なかった。
 一通の手紙が残っている。海協の大久保健三郎常務宛の辻川章作船長の手紙だ。封筒には「軍事郵便」「横濱港」の印が押され、一部には墨で塗りつぶされた部分もある。
 手紙によると、既に日本軍にとって苦しい戦況となっていた昭和18年8月18日、フィリピンのルソン島ルササの戦場で小嶋裕市さんが戦死。39歳だった。辻川船長は手紙に「遺言に子供を頼むと聞かされた時は泣かれました」と書き、次のように記している。「病気のところぞ無かったら一年や二年回でもありませうが、こゝは熱い地で病んだら働けず舞でもないので、本当に早く帰りたい気

う」としながらも呟く。

辻川船長は箱崎丸の残りの4人は終戦直前の昭和20年7月28日「ルンペン島のアウテン州サリ」オク付近の戦闘で戦死」と伝えられる。その戦闘の様子は調べても分からない。しかし「アウテン州」は名前の通り山また山で海には面していない。調査の中で昭和19年に撃沈された大阪商船の瑞穂丸の船員で怪我のため帰国が遅れてしまった2人が、このサリオク付近の戦闘で戦死という記録が見つかった。海の男たちが米軍に追い詰められ、山岳地帯で玉碎したのだから、さぞかし無念だったろう。

辻川船長の庭に当たる小西屋美子さんは箱崎丸が出港の折「瀬戸の港をクルクルと3回まわって、汽笛を鳴らしてから出港して行きました。かわいそうでした」と涙をぬぐった。

辻川船長と箱崎丸の残り4人
 は終戦直前の昭和20年7月28日
 「ルソン島のマウンテン州サリ」
 オク付近の戦闘で戦死」と伝え
 られる。その戦闘の様子は調べ
 ても分からない。しかし「マウ
 ンテン州」は名前の通り山また
 山で海には面していない。調査
 の中で昭和19年に撃沈された大
 阪商船の瑞穂丸の船員で倭我の
 ため帰国が遅れてしまった2人
 が、このサリオン付近の戦闘で
 戦死として記録が見つかつた。
 海の男たちが米軍に追い詰めら
 れ、山岳地帯で玉砕したのだら
 うか。さぞかし無念極つたこと

は川船長の艇に当たると小西寛美とくは箱崎丸が出港の折、「瀬戸の港をクルクルと3回まわって、汽笛を鳴してから出港して行きました。かわいそうでした」と涙をぬぐった。

A black and white photograph showing a group of about eight men and one young child standing on a sandy beach in front of a large, white boat. The boat is decorated with large, ornate Japanese flags or banners featuring various symbols and characters. One prominent banner has the characters '九福勝二第' (Kufukatsu Nidai) written on it. Another banner features a large, stylized eye-like graphic. The men are dressed in casual attire, including white shirts, dark trousers, and hats. One man is holding a baby. The background shows a clear sky and some distant structures.

S 30年代

交通指導員として長く貢献されました。写真は馬渡利徳氏提供 →



S 4 0 年代後半？馬渡氏提供



山口正彦氏提供 S 4 0 年代



平成14年度 中体連 ソフト優勝

父兄も頑張りました ↑

40年程前の話になりますが、パナソニックがナショナルというところ、北海道への3泊4日の優待旅行へ行かないかと友達の母親から誘われました。格安だったので参加しましたが、福岡県の参加者が多いツアーで、その中に、又まご婦人が一人。朝から晩まで飲み放し。旅も最後の宿泊地、札幌のホテル

もうすぐ着というときにバスの中で「すすきのを通ると聞いたからすすきにかくれて用を足せる思っていたがすすきなど、どこにもない」と大騒ぎ。ホテルに着くなりトイレへ一目散。トイレに行きたいのは本当だと思いましたが、札幌の繁華街「すすきの」と植物の「すすき」をからめた話に皆、大笑いでした。ツアー旅行でバスに乗る時は「トイレが近くなる酒は絶対飲まない」いい教訓になりました。

さて、私は、3月31日をもちまして、集落支援員をやめます。今まで、多くの人達から支えられて活動することができました。本当にありがとうございました。4月からは、一部会員として頑張っていきますのでこれからも、よろしくお願いします。「とっしゃんのひとりごつ」はこれでおしまいです。